

# 彼方小だより

児童数配布

富田林市立彼方小学校

令和4年7月号

## 「3年ぶりの歓声」

校長 藤井 貞彦

このところ非常に暑い日が続いています。この暑さにさすがの子どもたちも少々バテ気味のようです。（私はもうすでに・・・です）

早いもので、ついこの前1学期が始まったと思えば、あっという間に残り3週間となりました。コロナウィルスも感染者数が減らず心配ですが、それ以上に熱中症対策が急務です。学校でも細心の注意を払いながら教育活動を進めています。ご家庭でも、水筒の準備や規則正しい生活に心がける等、ご協力よろしくお願いします。

「きゃー！」「冷たい！」プールに子どもたちの歓声（悲鳴？）が戻ってきました。

コロナウィルス対応で、この2年間実施できていなかった水泳指導を再開しました。年度当初から検討を重ねた結果、実施回数は減りますが一回に入る人数をしばって実施することにしました。プール開きに向けて、6月7日（火）には5・6年生の子どもたちと先生方でプール清掃をしました。2年間の汚れは少し手ごわかったようですが、みんなで協力してプールをピカピカにしてくれました。

6月17日（金）いよいよ「プール開き」です。一番手は4年生、梅雨入りしたばかりでまだまだ水温が少し低かった（入水の基準はクリアしていました）ので、恒例の「地獄のシャワー」で子どもたちの悲鳴が響き渡りました。

その後は天候にも恵まれ（このところは少し暑すぎましたが・・・）水温も順調に上昇して、「地獄のシャワー」も「天国のシャワー」に変わり、毎日プールからは大歓声がかましています。私もできる限りプールに行って、水面のゴミや虫を救いながら子どもたちの様子を見ています。子どもたちの楽しそうな顔を見て、歓声を耳にしていると、再開して本当に良かったなと思います。

「校長先生、何してるん？」「水が汚れへんように虫をすくってるんやで。」「ありがとう！」その上にこんなことを言われたら、もうダメですね。つつい網を持つ手に力が入り、このところ常に私の腕はパンパン状態です。

まだまだ元通りというわけにはいきませんが、着実にできる事が増えてきています。我々もこの2年間でコロナウィルスとの付き合い方をいろいろと学びました。安全・安心を最優先しながらですが、子どもたちの成長のために楽しい取り組みを進めていきたいと考えています。

今後とも温かいご支援・ご協力をよろしくお願いします。